

Let's Know Hiroshima Castle.

しろうや！ 広島城



No.71

すごいお屋敷があったんですよ！ふたたび！！

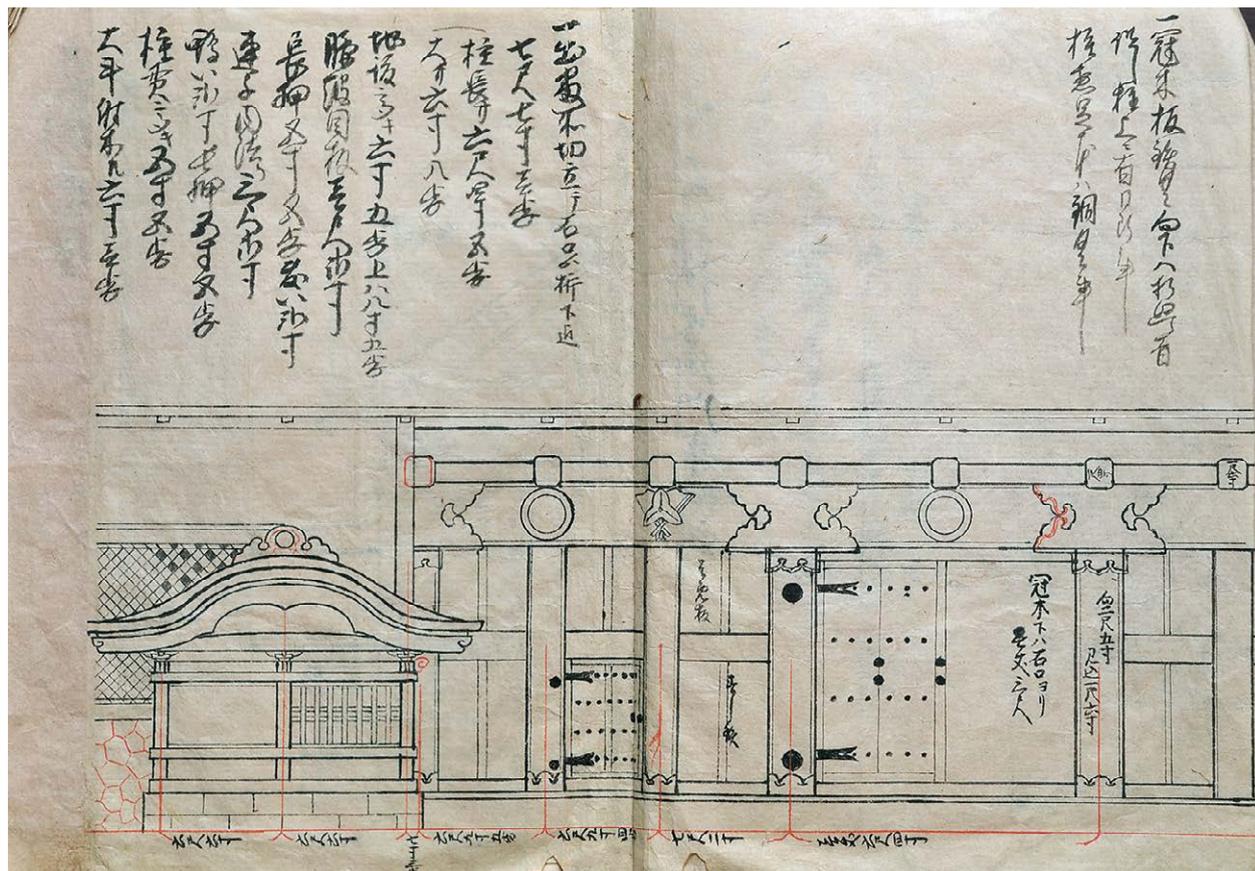


写真1 『江戸御上屋舗御建前地割』 広島城蔵

「しろうや！広島城」No.67で、広島浅野家の江戸上屋敷がとても豪華だったことをお伝えしました。今回、その様子がさらによくわかる資料が広島城に寄贈されたので、ちょっとくわしくご紹介します！ とりあえず門だけなのですが・・・

写真1は、霞ヶ関（東京都千代田区）にあった広島浅野家の江戸上屋敷、「御客御門」（表門）の立面図です。将軍や他の大名といった来賓を迎えるための門の両脇には、丸みを帯びた屋根が特徴の向唐破風造の番所が設けられており、その豪華さに目を見張るものがあります。No.67でご紹介したように、私たちは平面図や錦絵から当時の姿を知ることが出来ます。しかし、規模や細かな装飾などについてまだよくわかっていない部分があるのです。

ところが今回ご寄贈いただいたこの資料によって、明らかになったことがありました。もともと寺社などに携わる宮大工だった方のお宅に残されていたもので、表紙には「寛政六年今門御場所 江戸御上屋舗御建前地割 甲寅年御再建 中村姓」と書かれ、「御客御門」だけでなく、「物見」や「勝手門」、「玄関」といった屋敷の各場所の立面図などが掲載されています。寛政6年（1794）という年記とともに「御再建」と記載されていること、図面に朱書きで訂正されて

いるところがあるということから、屋敷の建替え作業を行うため、大工の手控えとして作成されたもののようです。ここには、柱の太さや部材の位置関係などの記述を確認することができます。

まず規模について見てみましょう。門の一番大きな入口部分の幅は一丈六尺四寸（約5m）あり、扉の高さは一丈三尺（約4m）とかなり広く設けられています。扉を支える鏡柱も立派で二尺五寸（約76cm）×一尺六寸（約48cm）の太さのものが、その上をまたぐようにある冠木は、三尺五寸（約1m6cm）×一尺九寸（約58cm）と使われている部材はどれも巨大です。なかなか寸法だけだとピンと来ないかもしれませんが、広島城二の丸に復元されている表御門と比べてみましょう。表御門は入口の幅が約4m、扉の高さは約3mです。鏡柱は約56cm×約33cm、冠木は約41cm×約38cmのヒノキ材が使われています。ちなみにこの大きなヒノキ材は、平成元～3年（1989～91）の復元工事の時、国内ではこの大きさのものが調達できなかつたため、台湾産のものが使用されています。私たちは、表御門を通る際にその大きさを実感できるのですが、江戸上屋敷の門はさらに大きく、威容を誇っていたのです。また、柱や扉にはそれぞれ筋金や八双金物をはじめとする装飾金具が用いられていて、堅牢かつ重厚な見栄えのある造りとなっています。

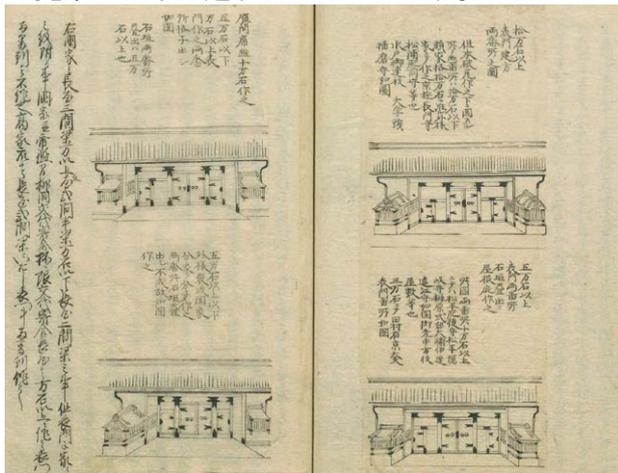


写真2 『青標紙』 国立国会図書館デジタルコレクション

次に左右の番所ですが、この形は屋敷の門とともに武士の格式で決められています。写真2は、江戸時代後期に作成された『青標紙』という書籍の一部分です。この書は、武士として必要な知識、法令や規則、作法などの諸規定が集められたものです。これによると番所の造りは石高によって決まっています、向唐破風のものは

十萬石以上の身分の高い屋敷に使われるものだということがわかります。

最後に、今回一番注目したところは、冠木のところにある紋です。先ほどご紹介した『青標紙』に「表門に家紋を付けることが出来るのは、国持大名か、帝鑑柳間交代寄合の家格に限る」と記されていることから、どうやら浅野家の家紋のようです。今日私たちは家の玄関に表札を掛けるのが一般的ですが、表札の代わりに家紋を掲げていたのです。浅野家の家紋といえば「丸に遠鷹羽」が一般的によく知られているのですが、江戸上屋敷の御客御門には写真1のように「扇に沢瀉」が一般的によく知られているのですが、江戸上屋敷の御客御門には写真1のように「扇に沢瀉」が用いられたようです。実際、大名や幕府役人の氏名・石高・俸給・家紋などを記した「武鑑」を見ると、写真3のように浅野家には三種類の家紋があったことがわかるとともに、向かって一番左、私たちにとって馴染みの薄い紋が使用されたのがわかります。



写真3 『寛政武鑑』(部分) 国立国会図書館デジタルコレクション

この『江戸御上屋敷御建前地割』に記載されている寛政6年（1784）当時の当主は浅野重晟です。重晟は就任当初、先代から引き続いて藩の財政悪化を立て直すため、緊縮を伴う改革を行っていました。この頃はその効果が次第に現れ一息つくことができたのでしょうか、広島では大名庭園「縮景園」の改修、学問所の設置や文化に力を注ぐなど、経済的にも文化的にも充実した時期に移行したことがうかがえます。そこで江戸屋敷の立て直しをした可能性があるかもしれません。

今回ご紹介したのは「御客御門」の部分ですが、ほかにも「物見」などの記載も見られます。引き続き調査し江戸上屋敷の全容をみなさんにご紹介できたらと思っています。

(山脇一幸)

※一尺≒30.3cmとして計算しています。

被爆の古刀をきたえて作られた脇指～ネルー首相来広記念～



平和記念公園で開かれた市民歓迎大会に臨むネルー首相。約3万人の市民を前に平和のメッセージを読み上げました。

広島市公文書館蔵

広島城が収蔵する刀剣類の中に「ネルー首相」(以下「ネルー首相」と刻まれた脇指^{わきざし})があります。ネルー首相といえば、第二次世界大戦後、イギリス領から独立したインドの初代首相です。米ソ対立の冷戦下、非同盟諸国のリーダーとして原水爆実験禁止を訴えた著名な政治家でもあります。昭和32年(1957)、国賓^{こくひん}として来日した彼は被爆地広島を訪れ^{ひとふり}ました。その来広記念に贈られた物品の中に刀一振がありました。冒頭の脇指はその控えなのですが、どんな脇指だったのか、どのような経緯で広島城が収蔵することになったのか、少しご紹介したいと思います。

ネルー首相が被爆地広島を訪れたのは、昭和32年10月9日のこと。戦後、外国元首が広島市を訪れるのは初めて、しかも平和理念を掲げる世界的リーダーの来広とあって市民の熱烈な歓迎を受けました。来広記念に贈られた脇指は、日本美術刀剣保存協会中国支部が広島市に託したもので、「日印親善と世界平和、原爆犠牲者の慰霊」を願い、原爆で焼かれた古刀をきたえ込んで作られました。原爆ドームと平和大橋、平和のハトの図案が銀製の縁頭^{ふちがしら}にあしらわれ、鍔^{つば}の表裏には広島市のマークが彫り込まれていたようです。わずか2時間の滞在でしたので、直接手渡す時間はなく、後日、ネルー首相のもとに贈られました。

さて控えとして当館が収蔵する脇指です。白鞘^{さや}入りの刀身のみで、刃長50.2cm、反1.3cm、刃文は丁子(クローブ)の実が連なったような文様です。銘には世界平和を願って被爆した古刀を刀工盛俊^{もりとし}が影打したこと、ネルー首相に贈った刀の副(控え)であることが記されていま



脇指にある銘 左：表 右：裏

す。刀工盛俊^{もりとし}は広島県大竹市在住の4代目越水^{こしみず}(青龍軒)盛俊氏、影打とは複数打の中から最良品(真打)を依頼主に納めたのち、手元に残したものをいいます。控えは広島市に寄贈され、翌昭和33年、広島城が収蔵することになりました。外観復元された天守閣が博物館として開館したことから受け入れたものと思われる。

刀剣は古くから災いを断ち切り、幸運を切り開く象徴として考えられています。世界平和を願い、被爆の古刀をきたえ込んで作られた脇指にも通じるものがあります。ヒロシマの心が託されたこの脇指を、今後機会を見つけて展示したいと考えています。(高野和彦)

【参考文献等】

- ・中国新聞 昭和32年10月8日付、10月9日付、10月10日付各朝刊
- ・『広島新史 市民生活編』(広島市 昭和58年8月31日)
- ・『日本刀銘鑑』(雄山閣出版 平成6年8月20日)

コラム - これからの広島城 - 石垣調査の実施①

広島市では、天守の木造復元の実現に向けた調査検討の一環として、令和3年度から天守台石垣の現況を把握するための調査を実施しています。石垣は史跡広島城跡を構成する大切な要素であり、木造復元の実現に向けては、天守を支える石垣の健全性や復元等工事に際しての保全方法についても検討する必要があります。

また、広島城の石垣は築城時のものもあり、広島城の歴史を感じることができる場所となっていることから、今後、順次史跡内の石垣調査を実施する予定です。

今回は、天守台石垣の調査の様子をご紹介します。



① 三次元レーザー測量 石垣表面の現状を把握



② 弾性波探査 表面の石の奥行を確認



③ ファイバースコープ調査 石垣内側の状況を撮影



④ 地中レーダー探査 石垣内側にある裏込^{うらこめ}の状況を確認

次回のコラムでは、広島城展示等基本計画についてご紹介します。

(広島市市民局文化スポーツ部文化振興課)

しろうや!

広島城

編集・発行

公益財団法人広島市文化財団
広島城

〒730-0011
広島市中区基町21-1
電話：082-221-7512
FAX：082-221-7519

令和4年2月22日発行

広島城利用案内

開館時間：9：00～18：00

(12月～2月は9：00～17：00)

入館の受付は閉館の30分前まで

入館料：大人370円(280円) 中学生以下無料
高校生相当・シニア(65歳以上)180円(100円)
()内は30名以上の団体料金

休館日：12月29日～12月31日(臨時休館あり)

ホームページ <http://www.rijo-castle.jp>

「しろうや! 広島城」のバックナンバーは、広島城のホームページからダウンロードできます